

IMIS20年間の医療データを用いた生活習慣病を持つ中高齢者の循環器疾患発症予測に関する研究

1. 研究の対象

1991年1月～2005年12月に当院で糖尿病、高血圧症、高脂血症のどれからの生活習慣病の診断を受けられ、その時点で50歳以上の方。ただし、診断から3ヶ月以内に虚血性心疾患、脳血管障害等の循環器の病気を発症された方あるいはがん治療を受けられた方は対象外です。

2. 研究目的・方法

研究目的：1991年から2010年までの匿名化医療データを用い、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、高脂血症）を罹患した50歳以上の成人が循環器疾患を発症するリスクをディープラーニング手法を用いて高い精度で予測するモデルを作成します。このモデルを用いて、循環器疾患発症に寄与する因子を抽出すると共に、成人の検査基準値がそのまま適用できない高齢者に対する医療介入のタイミングについての知見を得ることを試みます。

研究方法：本学附属病院の医療データから作成された匿名化データを用いて、生活習慣病（糖尿病、高血圧症、高脂血症）の診断が付いた患者を数年（2年から5年）追跡することで、生活習慣病が基礎疾患となり発症する循環器疾患（虚血性心疾患、脳血管障害等）の発症予測を機械学習のモデル（ディープラーニング）を用いて行います。

本研究に関する広報は、保健医療情報学教室ホームページを通じて行います。その中で、本研究でのオプトアウトは利用するデータの特性（匿名化されている）からできない場合があることを説明します。

予定の研究期間は、本学の倫理審査承認後から2027年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、受診歴、入院歴、検査歴、薬歴等。用いるデータはすべて匿名化されたものです。また、日付は用いず、生活習慣病の診断日からの日数とその年のみを使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には下記の連絡先までお申出ください。本研究では匿名化されたデータを用いるため、研究対象から除外することはできませんが、本研究についてご理解いただけるよう誠心誠意ご説明させていただきます。なお、申出された場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：研究責任者 国立大学法人高知大学医学部看護学科基礎看護学講座
栗原 幸男

住所：高知県南国市岡豊町小蓮、電話：088-880-2524